

「民間ロケットの開発・実証」事業の概要とステージゲート審査結果

代表スタートアップ：インターステラテクノロジズ株式会社
事業計画名：小型人工衛星 打上げロケット ZERO の技術開発・飛行実証
フェーズ1 事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1 交付額上限：20.0 億円
フェーズ2 事業期間：～令和8年3月末 フェーズ2 交付額上限：46.3 億円
フェーズ2 追加配分額：14.4 億円
フェーズ3 事業期間：～令和10年3月末 フェーズ3 交付額上限：73.7 億円

代表スタートアップ：スペースワン株式会社
事業計画名：増強型ロケットの開発、打上げ実証及び事業化
フェーズ1 事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1 交付額上限：3.2 億円
フェーズ2 事業期間：～令和8年3月末 フェーズ2 交付額上限：12.3 億円
フェーズ2 追加配分額：4.1 億円
フェーズ3 事業期間：～令和10年3月末 フェーズ3 交付額上限：44.6 億円

※上記の掲載順は、応募申請順に基づきます。

※フェーズ3への移行が認められなかった将来宇宙輸送システム株式会社については、ステージゲート審査委員会において一定の技術力があると判断され、かつ、自ら事業継続の意思を示したことから、フェーズ2事業期間の延長が認められています。なお、本延長期間における事業計画の妥当性及び資金の追加配分の必要性を判断するため、別途審査を実施する予定です。